

鹿児島県と福島県の家きん農場で 高病原性鳥インフルエンザが続発！！

12月7日、鹿児島県出水市と福島県飯舘村の家きん農場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の疑似患畜が確認されました。

国内の農場や家きん飼養施設におけるHPAIの発生は今シーズン合計28例(鹿児島県では6例目、福島県では2例目)となります。

また、野鳥で93例、飼養鳥で2例、HPAIウイルス陽性が確認されています(12月6日現在)。

鶏などの家きんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策と異常発見時の早期通報をお願いします。

【農場の概要】

- ・所在地 鹿児島県出水市
- ・飼養羽数 約6万羽(採卵鶏)

【経緯】

12月6日(火)

- ・家きんの異状の通報を受け、鹿児島県が農場の立入検査を実施
- ・簡易検査を実施し、陽性を確認

12月7日(水)

- ・遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認

【農場の概要】

- ・所在地 福島県飯舘村
- ・飼養羽数 約10万羽(採卵鶏)

【経緯】

12月6日(火)

- ・死亡羽数増加の通報を受け、福島県が農場への立入検査を実施
- ・簡易検査を実施し、陽性を確認

12月7日(水)

- ・遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認